

警察庁によると、2024年の薬物事犯の検挙人員は1万3462人と前年比で132人増加。このうち、覚醒剤事犯は6124人で前年比210人増。年齢層別では、20歳未満が113人、20歳代が861人、30歳代が1259人、40歳代が1801人、50歳代が1454人、60歳以上が636人でした。一方で大麻事犯は6078人で前年比404人減。ただ、初犯者率は72.8%と引き続き高い割合

薬物事犯の検挙状況

合となっています。また、麻薬及び向精神薬事犯の検挙人員は1250人で、前年比322人増、このうちコカインの検挙人員は586人で前年比214人増。暴力団構成員等の検挙人員は2346人で前年比432人減、外国人の検挙人員は1288人で前年比87人増。男女別検挙人員は、男性が1万1644人、女性が1818人と、男性が多くなっています。

防犯一口メモ